

第七十三日目

師 範：第一次世界大戦は、大きな犠牲と被害を残して、5年間の戦いが終わりました。
新しい兵器などが登場し、民衆を巻き込み、無差別に死傷者を出す戦争になりました。



大量の兵器や弾薬を使うので、国民が女性も子どもも動員される総力戦になりました。

戦場も広がり、荒廃が激しくなりました。

この戦争の後始末を決める会議が、1919年にフランスのパリの郊外ベルサイユで開かれました。

中心の議題は、敗戦国ドイツに対して何を求めるかということと、国際的な平和機構「国際連盟」をあらたにつくり出そうとするものでした。

27か国が参加しましたが、ドイツは招かれず、きびしい制裁を受けることになりました。

1919年 パリ講和会議でベルサイユ条約が結ばれる。

この年を覚えましょう。

ペン太：お父さんは



「行く行くパリへ平和の使」

「いくいく」は1919ですね。

コン太：では



「平和の使 行く行くパリの ベルサイユ」

五・七・五にまとめてみました。

師 範：これは、こんな言い方しかないでしょうね。